

南風

田富南小校長通信

No. 18 1月12日(金)

むつき 睦月

令和6年が始まりました。1月ですが旧暦で1月の別名は睦月。「睦び月(むつびづき)」が略されたものだということで、「睦(むつ)ぶ」とは、仲よくすること。新年を祝って、家族や親族が集まり、「睦び親しむ月」だからということだそうです。年の初めに日々忙しい家族が集まって、みんな仲よくゆっくりと過ごしたいという気持ちは、誰もが持っていることだからでしょう。しかし、今年の年明けは決して平和だったわけではなく、能登半島を中心とした北陸の大地震や羽田空港での旅客機の衝突事故など、苦しい災害や事故が同じ日本で起こっているということがつらく思われます。あたり前の日常が早く戻ることを願うばかりですし、できることに協力していきたいと考えています。



さて、1月9日(火)に始業式が行われ、3学期が始まりました。昨年の2学期終業式の日、「令和6年1月9日の3学期始業式の日、児童全員が元気に登校してくることを願っています。」と話しましたが、さらに2名の転入生を含めて南小の児童が元気に「登校してきたことが嬉しかったです。ただこの3学期ですが、俗に「1月は行く」、「2月は逃げる」、「3月は去る」と言われる事があるくらい、あっという間に終わってしまいます。6年生にとってみれば、3月の卒業式が終わればもう中学1年生になるという現実があります。それ故、6年生の3学期を、中学1年生の「0学期」と言うことも聞いたこともあります。また、6年生以外の学年の児童にとっても4月から始まる新しい学年の準備をする学期とも言えるのです。どうか、短い3学期ですが、1日1日を一所懸命に生活していきましょう。くれぐれも、日々の生活を疎かにすることなく、大切に生きていきましょう。寒い冬も、もうすぐ峠を越し、だんだんと春の訪れが眼で見られるようになり、気がつけば「もう桜が」などという季節になってきます。



☆振り返り☆

① 除夜の鐘

例年12月31日の大晦日には、各寺院で「除夜の鐘」を撞いています。もうすぐ年明けという夜中にちょっと窓を開けてみると、どちらからともなく鐘の音が聞こえてきます。日本の年の終わりと年の初めを意味している音であると思います。さて、そんな除夜の鐘ですが、学校近くの長徳院さんで、2年前から子供たちに「除夜の鐘」を撞いてもらおうとい





う取り組みを行っています。令和5年12月31日の午後3時から約1時間ほど南小の児童も20名ほどが集まり、「除夜の鐘」を撞きました。撞く前に、本堂で「除夜の鐘」の由来などクイズ形式で説明していただき、その後実際に鐘を撞きました。最近は、人口の減少などで地域のお祭りや昔からある行事などが無くなっていくことが多く見られます。でも、昔から続いてきたものを絶やすこと無く伝えていくことも、大切なことだと思います。1年生が「昔の遊び」を体験することもあります。長い間伝わってきた日常生活の中の文化を体験し残し伝えていくこともこれからも必要になるのではないのでしょうか？どんどんいろんなことを体験してほしいと思います。

②3 学期始業式

1月9日(火)に3学期の始業式を行いました。2年生・4年生・6年生が冬休みの楽しい思い出やこの3学期に頑張りたいことなどを発表してくれました。3学期は一番短い学期なのですが、次の年度の1学期を迎えるための準備をする学期とも言えます。6年生は中学生への準備、5年生は最高学年の6年生となる準備(学校の顔になります。)であったり、他の学年も一つ学年が上り先輩となっていく準備をする学期と言えます。短い学期ですが、中身の濃い学期です。今は1年のうちで一番寒い時期(寒さの底)ですが、あと1カ月もすればあちらこちらの春の香が感じられるようになり、梅に続いて桜の開花も見られ春本番となっていきます。1日1日を大切に。そして明確な目標・目的をもって生活してもらいたいと思います。



めいかく
して明確な
目標・目的を
もって生活し
てもらいたい
と思います。

③「野球やろうぜ!」

アメリカメジャーリーグのロサンゼルス・ドジャース所属のおおたにしょうへい大谷翔平選手が、日本全国の小学校に野球のグラブを3個ずつ寄付したということをニュースで見たいと思います。中央市の6小学校にはいつ届くのかと思っていたのですが、実は昨年12月25日に中央市教育委員会に届いていました。(素晴らしいクリスマスプレゼント!となりました。)9日の始業式の中で紹介して、6年生にちょっとキャッチボールをしてもらいました。これからどんどん使って野球をやりたい子供たちが増えるといいですね。

